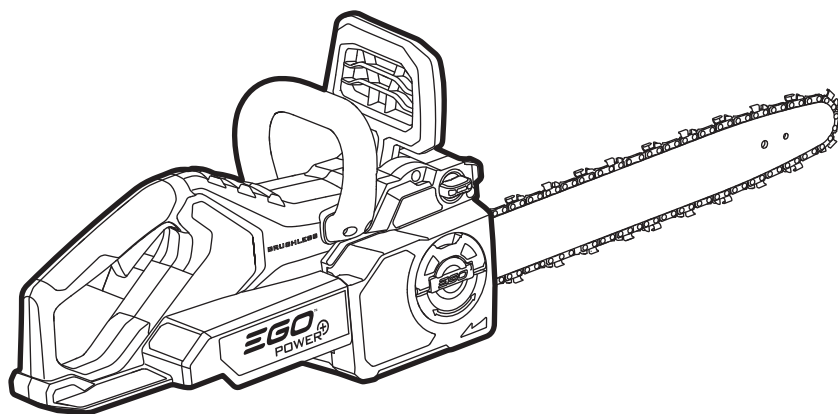


EGOTM

POWER⁺ CHAIN SAW



OPERATOR'S MANUAL

56 VOLT LITHIUM-ION CHAIN SAW

MODEL: CS1610E

EN 56V Lithium-Ion Chain Saw

ZH 56V 锂电链锯

ZH 56V 鋰電鏈鋸

KO 56V 리튬 이온 체인톱

JA 56V チェーンソー

Picture for reference only.

⚠ WARNING: To reduce the risk of injury, the user must read and understand the Operator's Manual before using this product. Save these instructions for future reference.

Contents

56V Lithium-Ion Chain Saw (CS1610E)	3
56V 鋰電鏈鋸 (CS1610E)	24
56V 鋰電鏈鋸 (CS1610E)	44
56V 리튬 이온 체인톱 (CS1610E)	63
56V チェーンソー (CS1610E)	84

※ページ数が多い為、Web版の取扱説明は日本語版のみを掲載しております。

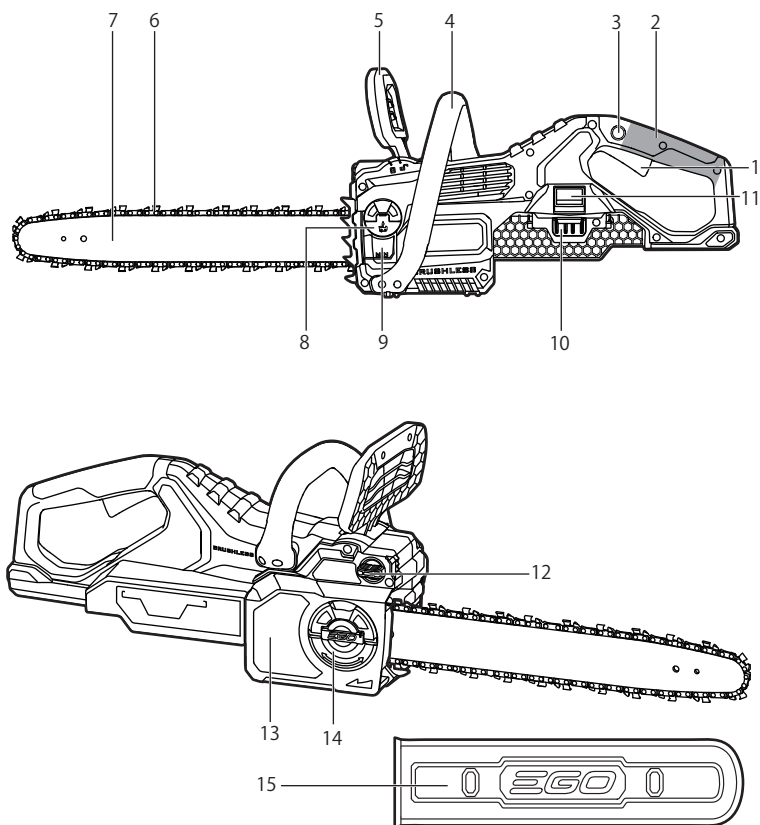
チェーンソーの説明



この製品は、木材や樹木の基本的な伐採、枝払い、剪定、木工に使用できます。使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。


1. チェーンソーの外観 (図1)

1



- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 可変速トリガースイッチ | 9. オイル点検窓 |
| 2. 後部ハンドル | 10. 電気端子 |
| 3. ロックオフボタン | 11. バッテリー解除ボタン |
| 4. 前部ハンドル | 12. チェーンテンション調整レバー |
| 5. チェーンキックバックブレーキハンドル | 13. サイドカバー |
| 6. ソーチェーン | 14. サイドカバーレバー |
| 7. ガイドバー | 15. ガイドバー保護ケース |
| 8. オイルタンクキャップ | |

2. チェーンソーの仕様

モデル	CS1610E
定格電圧 (V)	56 
ガイドバー長さ (mm)	400
チェーンピッチ (mm)	9.5
チェーンゲージ (mm)	1.1
チェーン速度 (m/s)	20
ソーチェーンの種類	AC1600/AC1601 (推奨) AC1400/AC1401 (互換)
ガイドバーの種類	AG1600/AG1601 (推奨) AG1400/AG1401 (互換)
ガイドバータイプ	スプロケットノーズバー
チェーンオイルタンク容量 (ml)	150
重量 (バッテリーパック、カバーケースなし /kg)	3.9
推奨作業温度 (°C)	0～40
推奨充電温度 (°C)	5～40
推奨保管温度 (°C)	0～40

注記:

- ここに記載されている仕様は事前の通知なしに変更される場合があります。
- 本機を長時間使用すると、過熱することがあります。機械の損傷を避けるために、使用前に本機を適切な温度に冷却する必要があります。
- 製品の特定の構成は、販売地域や生産ロットの違いのため、異なる場合があります。詳しくは実際の商品をご覧ください。

安全に関する一般的な規則

⚠ 警告: この電動製品に付属する、安全上の警告、指示、図、および仕様をすべてお読みください。以下に書かれている指示に従わずにこの製品を取り扱った場合、感電や火災あるいは重大な事故を起こす危険があります。

後で参照できるように、警告や説明書をすべて保管してください

警告の「電動製品」という用語は、電動駆動式（コードレス）電動製品を指します。

1. 作業場所の安全

- 作業エリアは清潔に保ち、十分に明るくします。散らかった場所や暗い場所は事故の原因となります。
- 可燃性の液体、ガス、粉塵のある状況など、引火や爆発のおそれがある場所で電動製品を操作しないでください。火花を発生させ、粉塵や煙に引火する可能性があります。
- 電動製品を操作する際は、子供や周囲にいる人を遠ざけてください。注意力が散漫となり、操作に集中できなくなるおそれがあります。

2. 電気の安全

- 電動製品のプラグが、コンセントと合う必要があります。いかなる場合もプラグを改造しないでください。アース（接地）された電動製品には一緒にアダプタープラグを使用しないでください。改造してプラグと対応するコンセントを使用するならば、感電の危険性が低下します。
- パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫などのアースされた、面と身体の接触を避けてください。お客様の身体がアースまたは接地されると、感電の危険性が高くなります。
- 電動製品を雨や濡れた状態にさらさないでください。電動製品に水が入ると、感電の危険性が高まります。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを使用して、電動製品を持ち運ぶ、引っ張る、またはプラグを抜くことはしないでください。コードは、熱、オイル、鋭利な先端、または動くものから遠ざけてください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電の危険性が高まります。
- 電動製品を屋外で操作する場合、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用すると、感電の危険性が低下します。
- やむを得ず電動製品を湿気のある場所で操作することが避けられない場合、漏電遮断器（GFCI）で保護された電源を使用してください。GFCIを使用すると、感電の危険性が低下します。

3. 作業者の安全

- 電動製品を操作する際は、油断せず、十分に注意して、作業してください。疲れているときや、アルコール、薬剤の影響を受けているときは、電動製品を使用しないでください。電動製品の操作中に一瞬でも注意を怠ると、重大な人身事故につながる可能性があります。
- 安全保護具を使用してください。目の保護具は必ず着用してください。防塵マスク、滑り止め安全靴、ヘルメット、聴覚保護具などの保護具を正しく使用することで、人身事故を減らすことができます。

- c) 不意の始動を防ぎます。電源やバッテリーパックに接続したり、製品を持ち上げたり運んだりする前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いたまま電動製品を持ち運んだり、スイッチがオンの状態となり通電し、事故を招きます。
- d) 電動製品に電源を入れる前に、調整キーやレンチをすべて取り外します。電動製品の回転部分にレンチやキーを取り付けたままにしておく、人身事故の可能性があります。
- e) 無理をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ちましょう。これにより、予期しない状況でも電動製品をより適切に制御できます。
- f) 適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や宝飾品は着用しないでください。髪の毛や衣服を可動部分から遠ざけてください。ゆったりとした衣服、宝飾品、長い髪は可動部分に引っかかる可能性があります。
- g) 集塵および回収機器を接続する装置が提供されている場合は、これらが接続され、適切に使用されていることを確認してください。集塵装置を使用すると、粉塵関連の危険を減らすことができます。
- h) 電動製品を長く使用することによる慣れが、慢心や気の緩み、安全に使用するルールの軽視につながります。不注意な行動が、一瞬のうちに重傷を負う可能性があります。

4. 電動製品の使用とお手入れ

- a) 電動製品に無理な力を加えないでください。用途に適した電動製品を使用してください。正しい電動製品により、設計どおりの速度で、より効率的に、お使いいただくことができます。
- b) スイッチで電源のオン、オフが切り替わらない場合は、電動製品を使用しないでください。スイッチで制御ができない電動製品は危険であり、修理する必要があります。
- c) 機械操作の調整、アクセサリーの交換、または電動製品の保管を行う前に、プラグを電源から外し、装着されていればバッテリーパックを外してください。このような予防安全対策により、電動製品が誤って始動する危険性が低下します。
- d) 使用しない電動製品は子供の手の届かないところに保管し、この説明書に詳しくない人が電動製品を操作しないようにしてください。電動製品は、訓練を受けていないユーザーが手ですると危険です。
- e) 電動製品とアクセサリーをメンテナンスします。動く部分のずれや固着、部品の破損や、その他電動製品の異常がないか点検してください。破損があれば、使用する前に修理してもらってください。電動製品による事故の多くは整備不足が原因です。
- f) 切断工具はいつも切れ味を鋭くきれいにしておきます。刃先が鋭く正しく手入れされた切断工具は、加工材に挟まって動かなくなることもなく、より容易な作業ができます。
- g) 電動製品、付属部品、先端工具などは、それぞれの取扱説明書に従って使用してください。作業条件と自分がおこなう作業を考慮に入れて作業してください。本来の目的とは異なる使用をすると危険で事故の原因となります。
- h) ハンドルや握り面は乾いた状態で、きれいにし、油やグリスが付着しないようにします。ハンドルや握り面が滑りやすいと、予期しない状況で電動製品の安全な取扱や使用することはできません。

5. バッテリーツールの使用とお手入れ

- a) メーカー指定の充電器でのみ充電してください。バッテリーパックに適した充電器は、純正品以外のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- b) 電動製品は、指定されたバッテリーパックでのみ使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災の危険があります。
- c) バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップや硬貨、鍵、釘、ネジ、その他の小さな金属物など、端子同士を接続できる他の金属物から遠ざけてください。バッテリー端子をショートさせると、やけどや火災の原因になります。
- d) 過酷な使用条件では、バッテリーから液体が排出される可能性があります。触らないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、少なくとも10分間は水で洗い流し、医師の診察を受けてください。バッテリーから液体が排出されると、炎症や火傷の原因となることがあります。
- e) 破損した、または改造されたバッテリーパックや電動製品は使用しないでください。破損した、または改造されたバッテリーは予期せぬ動作をし、火災や爆発、または怪我をもたらす可能性があります。
- f) バッテリーパックや電動製品を火や過度の温度にさらさないでください。火気や130°Cを超える温度にさらされると、爆発を引き起こす可能性があります。
- g) 充電の手順にすべて従い、取扱説明書で指定された温度範囲外ではバッテリーパックや電動製品を充電しないでください。充電が不適切だったり、指定温度範囲外で充電したりすると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まります。

6. 修理

- a) 製品の修理は、必ず純正の交換部品を使用して資格を持った技術者が行ってください。電動製品の安全を維持するために大変重要です。
- b) 破損したバッテリーパックは絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ず製造メーカーまたはEGO認定の販売店が行ってください。

チェーンソーの安全に関する警告

- チェーンソーが作動しているときは、ソーチェーンに近づかないでください。チェーンソーを始動する前に、ソーチェーンが何にも接触していないことを確認してください。チェーンソーの操作中に注意を怠ると、衣服や体がチェーンに絡まる可能性があります。
- 必ず右手を後部ハンドルに、左手を前部ハンドルに添え、チェーンソーを持ちます。チェーンソーを逆手で持つと、人身事故の危険が高まるため、絶対に行わないでください。
- 隠れた電線にソーチェーンが触れる可能性があるため、必ず、絶縁された握り面でチェーンソーを保持してください。ソーチェーンが「活線」の電線に接触すると、本機の露出した金属部分が「活線」になり、操作する人が感電する可能性があります。

- 目の保護具を着用してください。耳、頭、手、脚、足用のさらなる保護具を推奨します。適切な保護服を使用すると、飛散する破片やソーチェーンとの偶発的な接触による人身事故を減らすことができます。
- チェーンソーを木の上、はしごの上、屋根の上、または不安定な場所で操作しないでください。
- 常に適切な足場を保ち、必ず固定され安定した足場に足を付けてチェーンソーを操作してください。はしごのような滑りやすく、不安定な場所だと、チェーンソーのバランスや制御を失う可能性があります。
- 張力がかかっている木材を切るときは、跳ね返りに注意してください。木質繊維の張力が解放されると、バネの力が効いた木材が操作する人にぶつかったり、チェーンソーが制御不能になったりする可能性があります。
- 低木や苗木を切るときは細心の注意を払ってください。細身の素材は、ソーチェーンに引っかかり自分にぶつかってきたり、バランスを崩されたりすることがあります。
- チェーンソーは、電源を切り、体から離れた状態で、チェーンソーの前部ハンドルを持って持ち運びます。チェーンソーを運搬または保管するときは、必ずガイドバーカバーを付けてください。チェーンソーを適切に取り扱うことで、動いているソーチェーンに誤って触れる可能性を低下することができます。
- 潤滑、チェーンの張力調整、アクセサリーの交換は指示に従ってください。適切に張られていないチェーンや潤滑されていないチェーンは、破損するか、キックバックの可能性があります。
- 木材のみを切ります。想定外の目的でチェーンソーを使用しないでください。例えば、プラスチック、石、または非木材の建築材を切断しないでください。チェーンソー本来の目的とは異なる運用をすると危険な状況に陥ることがあります。
- 詰まった材料を除去するとき、チェーンソーを保管または整備するときは、マニュアルに従ってください。スイッチがオフになっており、バッテリーパックが取り外されていることを確認します。詰まった材料の片付けや修理中にチェーンソーを不意に作動すると、重大な人身事故につながる可能性があります。

追加の警告

- チェーンソーは両手で使用することが想定されています。片手で操作すると、作業者や周囲にいる人に重傷を負わせる可能性があります。
- 固定されたソーチェーンや、ガイドバーレールには、不意に接触しないようにしてください。これらは非常に鋭くなっている場合があります。チェーンソー、ソーチェーン、またはガイドバーを取り扱う際は、必ず手袋と長ズボンかチャップスを着用してください。
- 損傷しているか、不適切に調整されている、または完全かつ安全に組み立てられていないチェーンソーは、操作しないでください。トリガースイッチをはなすと、ソーチェーンが動かなくなるのを確認します。
- 切る前に、加工材に釘、電線、その他の異物がないか確認してください。
- 伐採する場合は、切る前に加工材を固定してください。伐採や剪定を行う際は、危険な枝を特定して固定します。
- チェーンソーによる攻撃的または乱暴な切断や誤使用は、バー、チェーン、スプロケットの早期摩耗を引き起こす可能性がある他、チェーンやバーの破損につながり、キックバック、チェーンのはずれ、または材料の飛散をもたらします。

- ガイドバーをテコのように使用しないでください。曲がったガイドバーは、バー、チェーン、スプロケットの早期摩耗を引き起こす可能性があります。チェーンやバーの破損につながり、キックバック、チェーンのはずれ、または材料の飛散をもたらします。
- 一度に1つの加工材のみを切ります。
- 雨の中や湿った場所でバッテリーパックを充電しないでください。
- 作業を計画し、障害物のない作業場所を確保します。伐採の場合には倒れた木からの避難経路を少なくとも1箇所は確保します。
- 伐採の際、周囲にいる人とは木の長さの少なくとも2本分の距離を離れてください。
- このマニュアルに記載されていない状況が発生した場合は、慎重に、適切な判断をしてください。サポートについては、EGO認定の販売店にお問い合わせください。

記号

次の記号の一部がお使いの電動製品で使用される場合があります。よく読み、必ず理解したうえでご使用ください。これらの記号を適切に解釈することで、電動製品をより適切かつ安全に操作できます。

記号	説明
	取扱説明書/冊子を参照してください
	目の保護具を着用してください
	耳の保護具を着用してください。 騒音にさらされると、難聴になる可能性があります。
	頭部保護具を着用してください
	防塵マスクを着用してください
	保護手袋を着用してください
	チェーンソーのキックバックに注意し、 バーの先端に触れないようにしてください
	ガイドバー先端のキックバック

	チェーンソーは常に両手で使用します
	雨にさらさないでください
	ガイドバーの情報
	環境保護
	ゴミ箱に捨てないでください
	直流
	注意



警告：電動カットによって生じる粉塵の一部には、癌、先天性欠損症、またはその他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。これらの化学物質の例としては、以下のようなものがあります。

- 鉛含有塗料からの鉛
- 化学反応木材からのヒ素とクロム。

これらに伴うリスクは、この種の作業を行う頻度によって異なります。化学物質の露出を減らすには、換気の良い場所で作業し、承認された安全保護具を使用して作業することが重要です。

組み立て

⚠ 警告: 部品が破損または欠落している場合は、部品を交換するまでこの製品を操作しないでください。部品が損傷または欠落している状態で、この製品を使用すると、重大な人身事故につながる可能性があります。

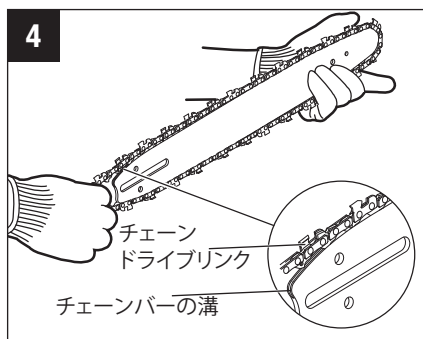
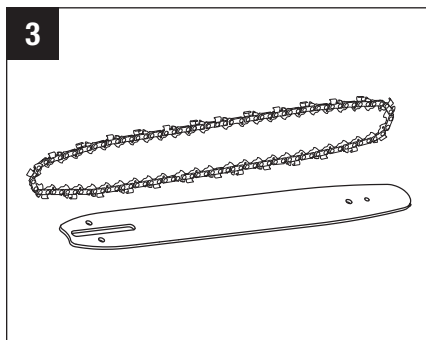
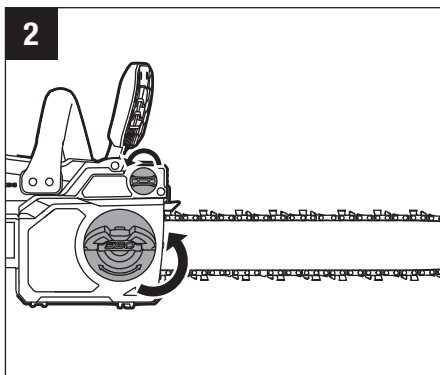
⚠ 警告: この製品を改造したり、使用が推奨されないアクセサリを作成したりしないでください。このような変更や修正は誤用であり、重大な人身事故につながる、危険な状態を引き起こす可能性があります。

⚠ 警告: 重大な人身事故を招く可能性のある不意の始動を防止するため、部品を組み立てるときは必ずバッテリーパックを製品から取り外してください。

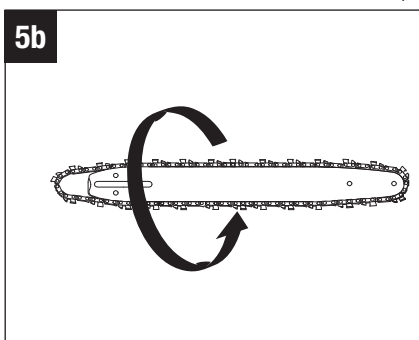
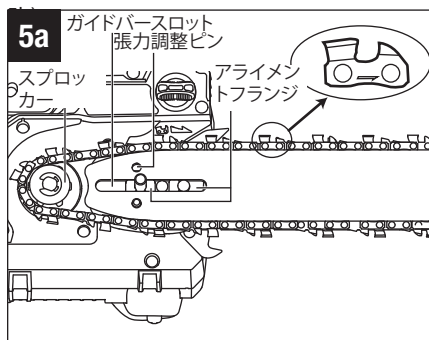
バーとチェーンの組み立て/交換

⚠ 警告: 組み立て前に、チェーンキックバックブレーキハンドルをブレーキの位置に調整します。

1. チェーンソーのパワーヘッドを横向きにし、サイドカバーを上に向けてください (図2)。
2. サイドカバーのレバーを反時計回りに回してサイドカバーを取り外し、チェーン張力調整レバーをできるだけ強く緩めます。
3. 新しいソーチェーンを平らな面の上に輪にして置き、ねじれをまっすぐにします (図3)。
4. チェンドライブリンクをガイドバーの溝に配置し、ガイドバーの後ろでチェーンを輪にします (図4)。
5. ガイドバーの所定の位置にチェーンを保持し、チェーンソーのスプロケットにかけて輪にします。
6. ガイドバースロットをアライメントフランジの上へと、張力調整ピンがバーの尾部の下穴に挿入されるまで、スライドさせます (図5a)。



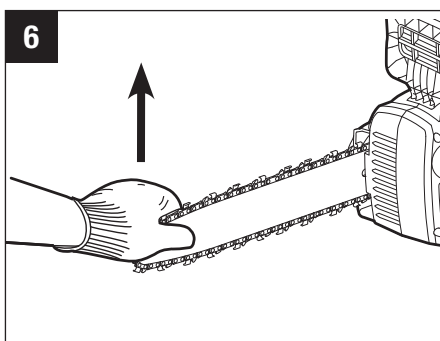
注:ソーチェーンには方向を示す小さな矢印が刻印されています。方向を示す別の矢印がハウジングにも成形されています。ソーチェーンをスプロケットにかけて輪にする際、ソーチェーンの矢印の向きがハウジングの矢印の向きと一致するか確認してください。それらが反対方向を向いている場合は、ソーチェーンとガイドバーの組み立て部品をひっくり返してください (図



7. サイドカバーを再び取り付け、サイドカバーのレバーを少し締めます。
8. ガイドバーの先端を持ち上げ、たるみがないか確認します (図6)。ガイドバーの先端を解放し、チェーン張力調整レバーを時計回りに1回回します。この手順を繰り返し、たるみを解消します。
9. サイドカバーのレバーをしっかりと締めて、ソーチェーンが適切に張られていることを確認してから使用してください。

注:ガイドバーの寿命を延ばすため、時々バーを逆にしてください。

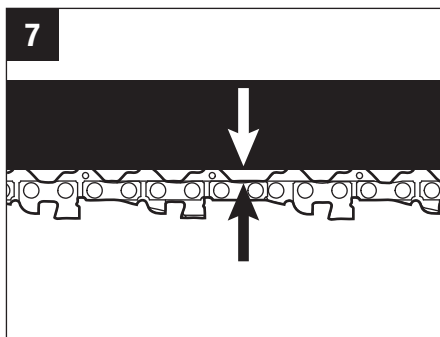
注:チェーンを張りすぎると、回転しません。サイドカバーのレバーを少し緩め、チェーン張力調整レバーを反時計回りに1回回します。ガイドバーの先端を持ち上げて、サイドカバーのレバーをしっかりと締めます。チェーンが引っかからず回転することを確認してください。



チェーンの張力調整

- チェーンの張りを調整する前に、モーターを止め、バッテリーパックを取り外してください。サイドカバーのレバーが緩んでいることを確認してください。チェーン張力調整レバーを時計回りに回し、チェーンの張りを調整します。次の項を参照してください。「バーとチェーンの組み立て/交換」を参照してください。

- ガイドバーの下側にたるみがなく、手で回せる場合、低温下でチェーンは正しく張られています。ドライブリンクの平面がバーの溝に収まらない場合は、チェーンの張りを再調整する必要があります。



- ソーの操作中、チェーンの温度は上昇します。正しく張られた場合でも熱を持ったチェーンのドライブリンクは、バーの溝から約1.3 mmほど垂れ下がります (図7)。

注:新しいチェーンは伸びる傾向があるため、チェーンの張りを頻繁に確認し、必要に応じて調整してください。

注:温かい温度下で張られたチェーンは、冷えると張り過ぎになることがあります。次回使用する前に、低温下の張力を確認してください。

操作

⚠ 警告:電動製品で何らかの作業を行う前に、バッテリーを取り外してください。

注:純正のバッテリーパックと充電器のみを使用してください。純正以外のバッテリーパックや充電器を使用すると、火災の原因となることがあります。

本体型式	バッテリーパック型式	充電器型式
CS1610E	BA1400T、BA2800T、 BA4200T、BA5600T、	CH2800D、CH5000

注記:正しい充電の方法については、バッテリーパックと充電器のマニュアルを参照してください。

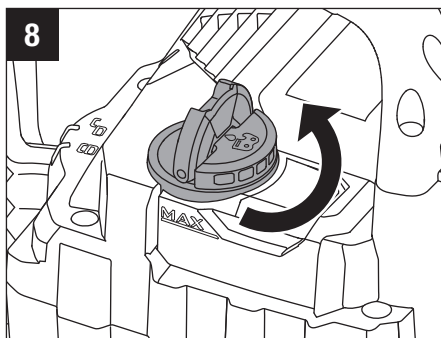
⚠ 警告:バッテリーはある程度まで充電された状態で出荷されます。バッテリーのフル容量を確保するには、電動製品の初回利用の前に、バッテリー充電器でバッテリーを満充電してください。

バーとチェーンの潤滑剤の注入

⚠ 警告:オイルやチェーンソーの近くで喫煙をしたり、火や炎に近づけないでください。オイルが漏れて火災を引き起こす可能性があります。

注:チェーンソーには購入時点でオイルが入っていません。使用前にオイルをタンクに入れてください。チェーンは操作中にチェーンオイルで自動的に潤滑されます。

1. チェーンソーを横向きにし、オイルタンクキャップを正面に向けてください。
2. オイルタンクキャップとその周辺を清掃して、汚れがオイルタンクに入らないようにしてください。
3. タンクキャップが上を向くように、チェーンソーを横向きにして堅く平らな面に置きます。半円のプレートを持ち上げ、オイルタンクキャップを反時計回りに回して取り外します (図8)。
4. 慎重にバーとチェーン用オイルをタンクに注ぎます。MAXのラインまで補充します。
5. 余分なオイルを拭き取り、キャップを再び取り付けます。



注: オイルレベルを頻繁にチェックし、オイルレベルが最低ラインを下回ったら補充してください。オイルが見えない場合は絶対にチェーンソーを使用しないでください。

バッテリーパックの取り付け/取り外し

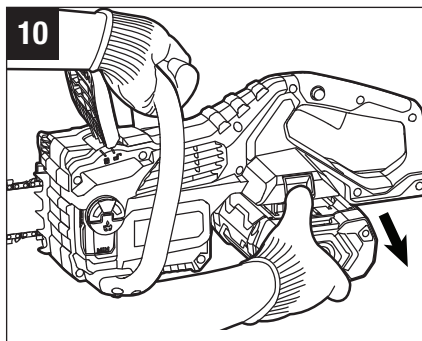
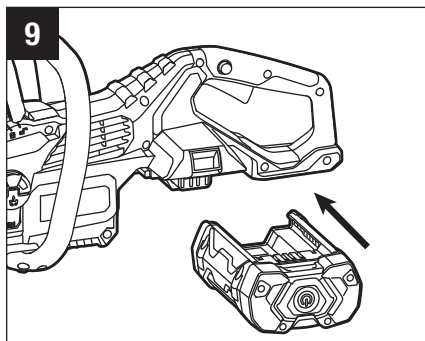
初回利用の前に満充電してください。

取り付け方法 (図9)

バッテリーの突起を取り付けスロットに合わせ、カチッと音がしてはまるまでバッテリーパックをスライドさせます。

取り外し方法 (図10)

バッテリー解除ボタンを押して、バッテリーパックを引き出します。



チェーンソーの始動/停止

注: チェーンソーを始動する前に、オイルレベル、ソーの刃の鋭さ、キックバックブレーキハンドルが正常に機能しているかどうかを確認してください。さらに、バランスの取れた足場と地面からの適切な距離も必要になります。

始動方法

1. チェーンキックバックブレーキハンドルを前部ハンドルに向かって引き、操作位置にします。(図11)

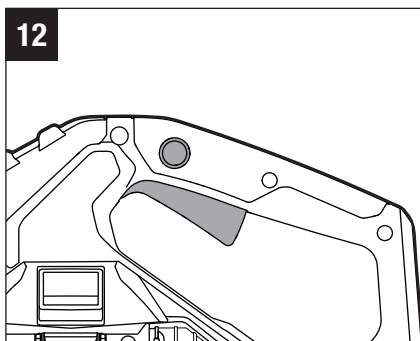
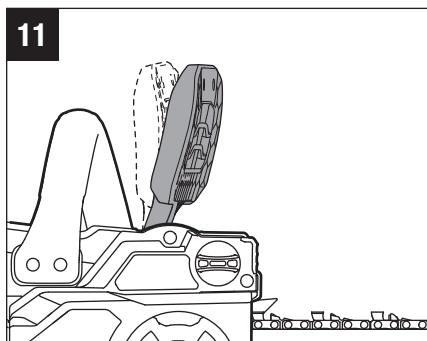
2. 両手で前部および後部のハンドルをしっかりと握ります。
3. 右手の親指でロックオフボタンを押したまま、他の右手の指で可変速トリガースイッチを握ってソーを始動します (図12)。
4. ロックオフボタンを放し、トリガーを引き続けると、操作が継続します。

⚠ 警告: ソーチェーンが切れていたら、ソーを始動しようとししないでください。

停止方法

1. 可変速トリガースイッチを放すと、チェーンソーが停止します。
2. チェーンキックバックブレーキハンドルを前方に押してブレーキの位置にし、チェーンブレーキを作動させます (図11)。

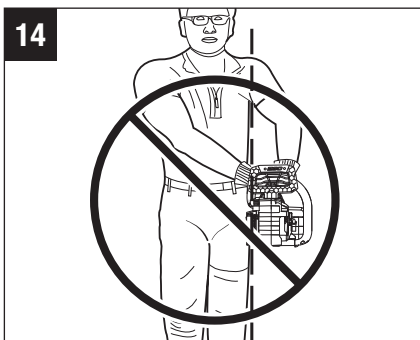
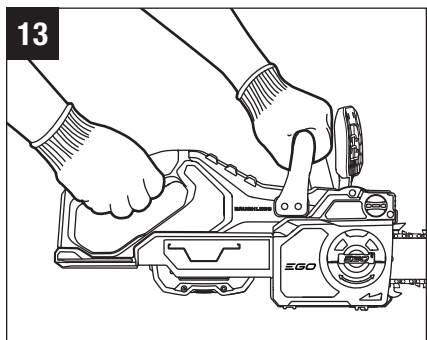
⚠ 警告: 作業休憩中や作業終了後は、必ずバッテリーパックをチェーンソーから取り外してください。



ハンドルを正しく握る (図13)

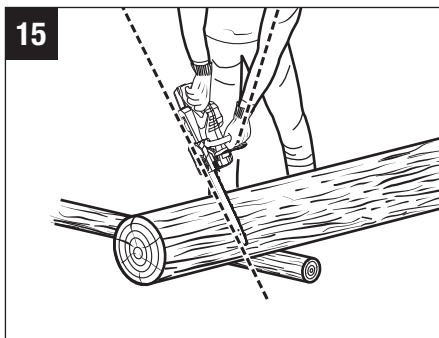
- 滑り止め手袋を着用し、握りを良くし、保護を強化してください。
- ソーを堅く平らな面に置き、両手でしっかりと持ちます。
- 必ず左手で前部ハンドルを握り、右手で後部ハンドルを握ってください。
- 指をハンドルに当て、親指は前部ハンドルの下に巻き付けます

⚠ 警告: 左利きの (手を交差する) 握り方や、体や腕がチェーンラインを横切るような姿勢は絶対に使用しないでください (図14)。



適切なカット作業姿勢 (図15)

- 両足をしっかり地面に付け、体重は両足に均等に分散してください。
- 左腕はまっすぐ伸ばし、肘を固定します。これはキックバックにより発生する力に耐えるのに役立ちます。
- 体は常にチェーンラインの左側にくるようにしてください。



基本的な伐採、枝払い、クロスカットの適切なテクニックに関する説明

⚠警告: モーターの作動中は、常に足元を確かめ、チェーンソーを両手でしっかりと握ってください。

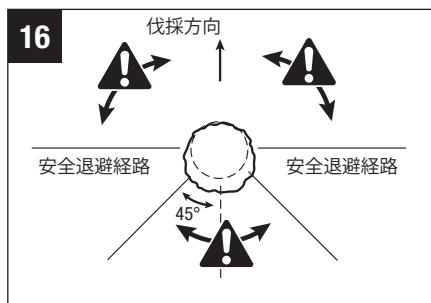
⚠警告: 切断中に挟まれてソーチェーンが停止した場合は、トリガースイッチを放し、ソーチェーンとガイドバーを木から取り外して、チェーンソーを再び始動します。

⚠警告: チェーンにおがくずが絡まっても、チェーンを手で引かないでください。チェーンソーが誤って始動すると、重傷を負う可能性があります。ソーチェーンを木に押し付け、チェーンソーを前後に動かして切りくずを排出します。除去する前に必ずバッテリーパックを取り外してください。ソーチェーンを取り扱うときは、厚手の保護手袋を着用してください。

⚠警告: チェーンソーが木材に接触しているときは、絶対に始動しないでください。チェーンソーを木材に当てる前に、必ず最高速度に達するまで待ってください。

木を伐採する

- バッキング作業や伐採作業が同時に2人以上で行われる場合、伐採作業はバッキング作業から離れて、少なくとも伐採する木の高さの2倍の距離を保って行う必要があります。木は、人を危険にさらしたり、電線に衝突したり、財産に損害を与えたりするような方法で伐採すべきではありません。木が電力線に接触した場合は、すみやかに電力会社に通知する必要があります。
- 木は伐採後に坂を下って転がったり滑り落ちたりする可能性があるため、作業者は地形の上り坂側に立たなければなりません。
- 切断を開始する前に、退避経路を計画し、必要に応じて確保しておく必要があります。退避経路は、図16に示すように、予想される倒木ラインの斜め後方まで延ばす必要があります。



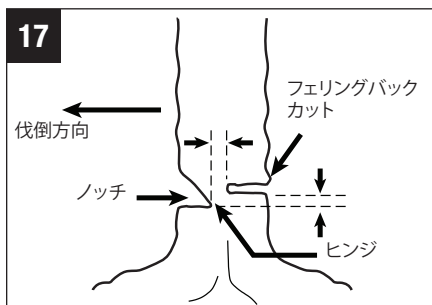
- 伐採を始める前に、木の自然な傾き、大きな枝の位置、風向きを考慮して、木がどの方向に倒れるかを判断してください。
- 木から土、石、剥がれた樹皮、釘、ホッチキス針、ワイヤーを取り除きます。

ノッチングアンダーカット

図17に示すように、木の直径の1/3の切り込みを、伐倒方向に対して直角に入れます。まず、下部の水平ノッチカットを行います。これにより、2番目のノッチを作る際に、ソーチェーンまたはガイドバーが挟まれるのを防ぐことができます。

フェリングバックカット

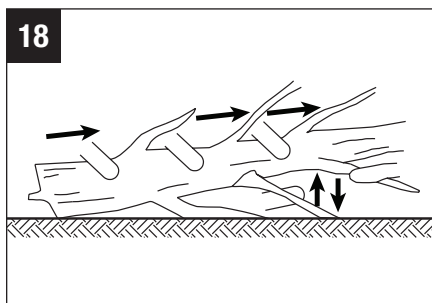
- 図17に示すように、フェリングバックカットは水平ノッチカットより少なくとも50mm高くしてください。フェリングバックカットを、水平ノッチカットと平行に保ちます。フェリングバックカットでは、ヒンジとして機能するのに十分な木材が残るようにします。ヒンジ材は木がねじれたり、間違った方向に倒れたりするのを防ぎます。ヒンジを切断しないでください。
- 伐採がヒンジに近づくと、木は倒れ始めるはずですが、木がご希望の方向に倒れない、または木が後ろに傾いてチェーンソーが持ていかれる可能性がある場合は、フェリングバックカットが完了する前に伐採を中止し、木、プラスチック、またはアルミニウムのくさびを使用して切り口を開き、ご希望の伐倒ラインに沿って倒木します。
- 木が倒れ始めたら、切断箇所からチェーンソーを外し、モーターを止め、チェーンソーを下に下ろして、計画した退避経路で逃げます。頭上の枝が落ちてこないように警戒し、足元に注意してください。



木の枝払い

枝払いとは、倒木から枝を取り除くことです。木材を切るときは、丸太を地面から離して支えるために、下側の大きな枝を残します。小さな枝は、図18に示すように一回で切ります。

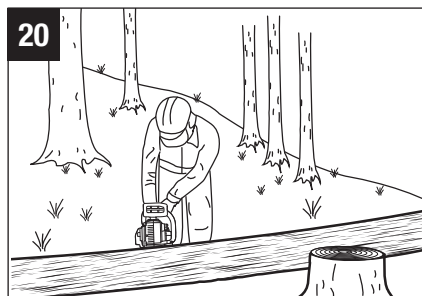
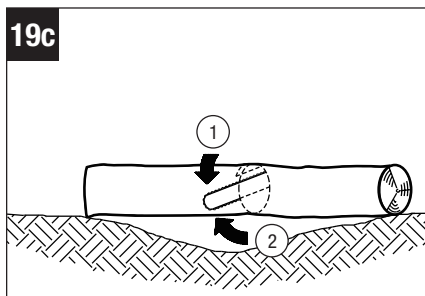
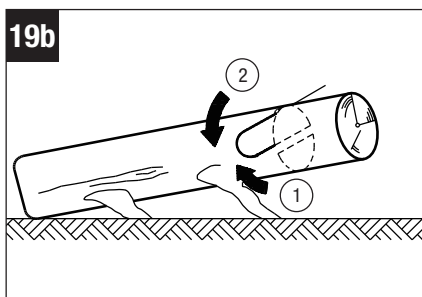
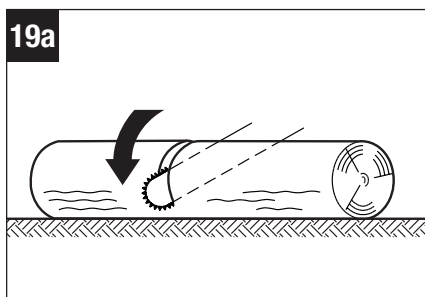
張力がかかっている枝は、チェーンソーが持ていかれないように下から上に切る必要があります。



丸太を切る

- バッキングとは、長さを合わせて丸太を切り出すことです。足元がしっかりと、体重が両足に均等に分散されていることを確認することが重要です。可能ならば、丸太を持ち上げて支えるのに、大枝や丸太、車輪止めブロックを使うと良いでしょう。シンプルな手順ですので、従うとカットが簡単になります。
- 図19aに示すように、丸太が全長にわたって支えられていたら、丸太は上部から切ります（オーバーバック）。

- 図19bに示すように、丸太の一方の端が支えられていたら、下側から直径の1/3を切ります（アンダーバック）。次に、最初のカットに合わせてオーバーバックすることで、仕上げのカットを行います。
- 図19cに示すように、丸太の両端を支えたら、上部から直径の1/3を切ります（オーバーバック）。次に、最初の切断箇所と合わせて下部の2/3をアンダーバックして、仕上げのカットを行います。
- 斜面で丸太をバックリングするときは、図20に示すように、常に丸太より上側に立ってください。
- 「切断」する際、しっかりと制御を維持するには、切断の終わり近くで切断の圧力を解放しますが、チェーンソーのハンドルの握りは緩めないでください。チェーンが地面と接触しないようにしてください。切断が完了したら、ソーチェーンが停止するのを待ってから、チェーンソーを動かします。木から木へ移動する前に必ずモーターを止めてください。



メンテナンス

⚠ 警告: 修理の際は、純正の交換部品のみを使用してください。純正以外の部品を使用すると、危険が生じたり、製品に損傷を与えたりする可能性があります。安全性と信頼性を確保するため、修理はすべて資格のある修理者が行う必要があります。

⚠ 警告: 重大な人身事故を負わないように、クリーニングやメンテナンスを行う前に、必ずバッテリーパックを取り外してください。

⚠ 警告: チェーンソーを洗浄する際は、水その他の液体に浸さないでください。

⚠ 警告:いかなる場合でも、ブレーキ液、ガソリン、石油系製品、浸透油などをプラスチック部品に接触させないでください。化学物質はプラスチックを損傷したり、弱めたり、破壊したりする可能性があり、重大な人身事故を引き起こす可能性があります。

一般的なメンテナンス

⚠ 警告:修理の際は、純正の交換部品のみを使用してください。純正品以外の部品を使用すると、危険が生じたり、製品に損傷を与えたりする恐れがあります。

クリーニング

⚠ 警告:製品の清掃に最も効果的なのは、エアーコンプレッサーです。製品をエアーコンプレッサー等で清掃する場合は、必ず安全ゴーグルを着用してください。換気口およびスイッチレバーは清潔に保ち、異物がないようにしてください。開口部に先のとがったものを差し込んで清掃しようとししないでください。

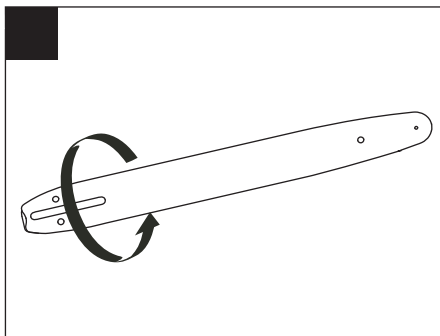
- 通気孔は清潔に保ってください。製品のすべての部品を清掃し、定期的に粉塵を除去してください。ごみが入らないようにします。
- 使用後は毎回、柔らかいブラシでチェーンとガイドバーのゴミを掃除してください。チェーンソーの表面を、中性洗剤で湿らせた、きれいな布で拭いてください。
- サイドカバーを取り外してから、柔らかいブラシでガイドバー、ソーチェーン、スプロケット、サイドカバーからゴミを取り除きます。
- ソーチェーンを交換する際は、必ずガイドバーの溝の木くず、木の粉、汚れを取り除いてください。

⚠ 警告:特定の洗浄剤や溶剤により、プラスチック部品が損傷します。その例としては、

ガソリン、四塩化炭素、塩素系洗浄液、アンモニア、アンモニを含む家庭用洗剤などがあります。

ガイドバーのメンテナンス

ガイドバーに摩耗の兆候が見られる場合は、チェーンソーのパワーヘッドからガイドバーを取り外し、逆にして再び組み立てます(図21a)。この方法により摩耗が分散され、ガイドバーの寿命を最大限に延ばせます。

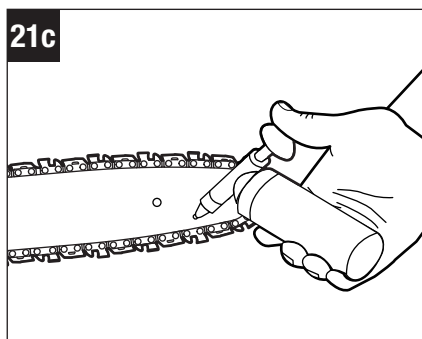
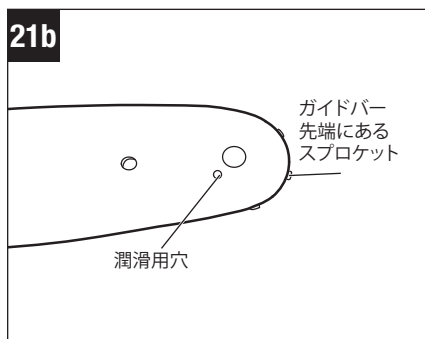


バーは使用したら毎回清掃し、摩耗や損傷がないか確認する必要があります。バーレールの毛羽立ちやバリは、バーの摩耗による通常の現象です。このような欠陥は、発生したらすぐにやすりで削って滑らかにします。次のいずれかの不具合のあるバーは、交換する必要があります。

- バーレールの内側が摩耗し、チェーンが横向きに倒れるようになっている。
- 曲がったガイドバー。
- ひび割れや破損したレール。
- 広がったレール。

さらに、ガイドバーの先端には、スプロケットがあります (図21b)。ガイドバーの寿命を延ばすには、スプロケットにグリース注入器で週に1回潤滑しなければなりません。グリース注入器を使用して、潤滑用穴からチェーンオイルを週に1回潤滑します (図21c)。

ガイドバーを回して、潤滑用穴とチェーンの溝に不純物がないことを確認してください。



運搬と保管

- チェーンソーは、作動させたまま保管や運搬をしないでください。保管または運搬する前に必ずバッテリーパックを取り外してください。
- 必ずガイドバー保護ケースをガイドバーとチェーンに取り付けてから、チェーンソーを保管または運搬してください。チェーンの鋭い刃に注意してください。
- チェーンソーは、保管する前に完全に清掃してください。チェーンソーは屋内の乾燥した場所や、子供の手が届かない場所に保管してください。
- 園芸用化学薬品や凍結防止剤などの腐食性物質を近づけないようにします。

環境保護



- 環境に優しいリサイクルのため、電動工具、アクセサリ、およびパッケージを分別する必要があります。
- 電動工具やアクセサリには、耐用年数が尽きても貴重な原材料やプラスチックが大量に含まれているため、これらも同様にリサイクルプロセスに戻して再利用できます。
- 作業によって発生する粉塵の中には有害な化学物質が含まれるものもあり、特別な廃棄物リサイクル施設で収集されなければなりません。
- バッテリーの処分については、リサイクルの為に回収しております。お買い求めの販売店へお手数ですがお持ちいただいたことで回収可能です。環境保護と資源の有効活用のためご協力をお願いいたします。ただし、膨張・液漏れ・破損がある場合は回収できません。お住まいの地域により異なる場合がございます。処分の際には自治体等へご確認ください。

修理

1. 交換部品の保証、修理、または購入の場合は、必ずEGO認定の販売店にお問い合わせください。また、有効な保証書と購入履歴がわかるものを提示してください。
2. 電動製品が通常の摩耗、過負荷、不適切な使用による損傷であった場合は、保証の範囲外となります。

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
モーターが始動しません。	バッテリーパックがチェーンソーに取り付けられていません。	バッテリーパックをチェーンソーに取り付けてください。
	ソーとバッテリーの間に電気的な接触がありません。	バッテリーを取り外し、接点を確認してから、バッテリーパックを再度取り付けます。
	バッテリーパックが消耗しています。	バッテリーパックを充電します。
	バッテリーパックまたはチェーンソーが過熱しています。	バッテリーパックまたはチェーンソーを、その温度が67°C未満になるまで冷却してください。
	チェーンブレーキが効いています。	チェーンキックバックブレーキハンドルを前部ハンドルに向かって後方に引くと、操作位置になります。
	バーの溝に切りくずがあります。	ソーチェーンを木に押し付け、チェーンソーを前後に動かして切りくずを排出します。
	サイドカバーに切りくずがあります。	バッテリーパックを取り外し、サイドカバーを取り外して、切りくずを掃除してください。
作業中にチェーンソーが停止します。	チェーンソーに負荷がかかり過ぎています。	負荷を減らしてください。
	バッテリーパックまたはチェーンソーが過熱しています。	負荷を減らしてください。バッテリーパックまたはチェーンソーを、その温度が67°C未満になるまで冷却してください。
	ソーチェーンが木に絡まっています。	可変速度トリガースイッチを放し、ソーチェーンとガイドバーを木から外してから、チェーンソーを再び始動します。
モーターは動作しますが、チェーンが回転しません。	チェーンがドライブスプロケットに噛み合っていない。	チェーンを取り付け直して、チェーンのドライブリンクがスプロケットに完全に収まっていることを確認します。

問題	原因	解決策
チェーンブレーキが効きません。	切りくずで、チェーンキックバックブレーキハンドルのスムーズな動きが妨げられています。	外部チェーンブレーキ機構から切りくずを取り除きます。
	チェーンブレーキの故障の可能性もあります。	修理については、本機購入販売店にお問い合わせください。
チェーンソーがうまく切れません。	チェーンの張力が足りません。	次の項に従ってチェーンの張りを調整し直します。「チェーンの張力調整」。
	チェーンの切れ味が鈍っています。	チェーンを研ぎます。
	チェーンが逆に取り付けられています。	ソーチェーンを取り付け直します。
	チェーンが摩耗しています。	次の項に従って、チェーンを交換してください（「バーとチェーンの組み立て/交換」）。
	チェーンが乾燥している、または過度に伸びています。	オイルの量を確認してください。必要ならオイルタンクを補充します。
	バーの溝にチェーンがありません。	次の項に従って、ソーチェーンを取り付け直してください（「バーとチェーンの組み立て/交換」）。
通常の使用中にチェーンが緩んだり、ガイドバーから外れたりします。	通常のソーの操作中、チェーンの温度は上昇するため、チェーンが緩みます。	「チェーンの張力調整」の項に従って、チェーンの張力を強めます。
	チェーンがドライブスプロケットに噛み合っていない。	次の項に従って、ソーチェーンを取り付け直してください（「バーとチェーンの組み立て/交換」）。

保証条件

- 製品の修理が必要な場合は、本機購入販売店へ連絡してください。製品保証の開始日は、購入保証書の日付に基づきます。
- 使用者個人の不適切な操作が原因でなく、部品の欠陥または製造上の不具合により製品が不良である場合、当該製品は保証期間内に無償修理を受けるものとします。
- 保証期間は次のとおりです：
 - 家庭用ユーザー / 非商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は12か月、バッテリー保証は12か月、充電器保証は12ヶ月。
 - プロフェッショナルユーザー / 商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は3か月、バッテリー保証は3か月、充電器保証は3ヶ月。
- 保証適応外事項：
 1. 通常の使用によって引き起こされた自然な摩耗や損失—トランスミッションギアやベルトなど。充電器の電源コード。チェーンソーのチェーン、ガイドバー、ガイドバー保護ケース。ナイロンコード、ブレード、シールド、ナイロンカッターおよび付属部品。車輪付き芝刈機の金属ブレードと車輪。ヘッジトリマーのブレードとブレード保護カバー。
 2. 自然要因によるケースの退色や経年劣化（化学洗浄剤や研磨剤の使用により発生したケースの変色、経年劣化など）。
 3. 取扱説明書の不遵守、異常な環境条件、過負荷、または不十分なメンテナンスによって引き起こされた製品の故障（汚れたチェーン潤滑油をチェーンソーに使用することにより起きたオイルの詰まりなど）。ヘッジトリマーのブレードが適切に清掃されなかったために発生した錆。
 4. お客様自身またはEGO認定の販売店以外での分解および修理により発生した電動製品の故障。
 5. 非純正品のEGOアクセサリーの使用により発生した不具合。
 6. 認めていない改造または部品変更された電動製品。
 7. 付属アクセサリーまたはアクセサリー。
 8. レンタル目的で使用されるすべての機器。
- お買い上げのレシートと本機のシリアル番号は重要な保証の証明書類です。大切に保管してください。購入販売店から求められる場合は、保証の証明書類として提示してください。
- 保証期間中にご不明な点がございましたら、購入販売店にお問い合わせください。販売店の特別な保証条件や、記載されていない事項については、本保証条件と矛盾がないときは、当該販売店の条件が優先されるものとします。

事前の通知なしに仕様の変更をすることがあります。

保 証 書

製品型式名をご記入ください		
製造番号		
保証期間 (保証条件面に記載)	年	月 日 まで
納 品 日	年	月 日

お客様欄は必ずご記入お願いいたします。

お 客 様	お名前 (会社名)	
	ご住所	〒
	電話番号	
販 売 店	店名	
	所在地	〒
	電話番号	

この保証書は必要事項を記入・押印することにより有効となります。

EGO



Manufacturer: Nanjing Chervon Industry Co.,Ltd
Made in China